



第141号 2018年5月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

## 主な内容

道の駅ゆとりパークたまがわ	P2
ズームアップ 江口伊織（東京都）	P6
萩大志館「東京游学ツアー」	P7
株式会社ネットケアサービス 金子竜二（萩市）	P8
レストラン ダイニング松風（萩市）	P9
連載 萩の産業遺産を歩く⑥	P10

かつて萩城と城下町をつないでいた3カ所の出入り口の一つ「平安古の総門」があった場所に、江戸中期に掛けられたといわれる石橋が今も残っている。「平安橋」の石垣、水面に映る木々が一体となり、水辺の景観を形成している。

## さわやかな新緑の朝

写真／原田洋子(椿東)





# 萩市の新年度予算 子育て支援に重点

昨年3月の市長選で初当選した藤道健二市長にとって初の本格的な予算。「明治維新150年、萩市の再生に向けてスタートする予算」と位置づけ、人口減少対策として子育て支援や若い世代が働く場所づくりに重点を置いた。一般会計当初予算は301億4千万円。子育て世代への支援に向けた目玉事業として、乳幼児・子ども医療費助成に1億3363万円を充てる。小学生までだった医療費自己負担の補助を、所得制限付きで高校生まで広げる。

市役所本庁東側に建設予定の萩市総合福祉センター整備費に、11億6544万円を計上。来年6月の供用開始に向けて本体建設工事などを行う。

萩市の人口は2005年の1市2町4村の合併時は約6万2千人だったが、3月末現在で約4万9千人までに減少し、高齢化は40%を超えている。旧郡部の少子高齢化はさらに加速し、小中学校の統廃合が続いている。

## 子育てしやすいまちを目指し 高校生までの医療費を助成

これまで所得制限付きで小学6年生までを対象とした「子ども医

療費助成制度」を大幅に見直し、今年8月から、高校3年生まで拡大し、中学生以下の所得制限を廃止するなど子育て支援を強化する。高校までの医療費助成をしているのは、山口県内では阿武町だけ。

子どもにかかった医療費の本人負担分を助成する。ただし、1医療機関あたり通院で月千円、入院で月2千円の一部自己負担がある。高校生への助成は、保護者の市民税所得割額が合計13万6700円以下（子ども2人の世帯で年収約650万円に相当）の世帯が対象。対象となる小学・中学・高校生を約3500人と見込み、6068万円を計上した。

また、未就学児を対象にした「乳幼児医療費助成事業」では、8月から保護者の所得制限を廃止し、すべての乳幼児の医療費で本人負担はゼロになる。対象者は約1700人で、7295万円を計上。子ども医療費助成と合わせた事業費は1億3363万円。

藤道市長は「子育て支援は、地域社会全体にとって、未来への投資だといえる。萩市で子どもを育てたいと選んでもらえるよう、子育てしやすい町を目指す」と話している。

# 道の駅ゆとりパークたまがわ リニューアルオープン

山と海の幸が豊富な田万川地域にあり、萩市の東の玄関口として地元産の農林水産物や特産品の販売など、地域の交流拠点となっている「道の駅ゆとりパークたまがわ」。昨年7月からリニューアル工事が始まり、3月末に完了した。昨年末に「特産直売店」、1月にテナントのレストラン「ダイニング松風」が先行オープン、2月17日にリニューアルオープンのイベントが開催された。

特産直売店の売り場面積が、以前に比べ1.4倍に拡大、鮮魚売場を強化するなどレイアウトを一新した。平山台果樹コーナー、定置網活魚コーナー、東洋美人コーナーを二本柱に、長萩和牛コーナー、水産加工品、地元野菜、農産加工品など地元の豊富な特産品を揃えている。近くには田万川温泉「憩いの湯」、RVパークもある。



右側に新設されたレストラン「ダイニング松風」

■道の駅ゆとりパークたまがわ  
萩市大字下田万2849-1  
営業時間／午前8時30分～午後6時  
定休日／第3月曜日（祝日の場合は火曜日）  
レストラン 午前11時～午後7時（定休日 月曜日）  
TEL08387-2-1150  
1997（平成9）年オープン、年間来場者数は約20万人。農産加工場製造のオリジナル「萩りんごジュース」や「ゆず吉ジュース」、地元漁師が届ける新鮮な魚や地元野菜が人気。

## 原支配人「地域振興に役立ちたい」

「道の駅ゆとりパークたまがわ」を運営する株式会社たまがわの新支配人に2月、就任した道の駅・駅長の原尚徳さん（58歳）は「最近の年間売り上げは2億2千万円くらい。野菜の品数がまだ少ないし、農水産物の加工品にも力を入れたい。買ひ物の目的にしてももらえるように、ここにしか置いていない質の高い商品にこだわりたい。道の駅として、萩市に何ができるかを考えながら、地域振興を図りたい」と意気込んでいる。



支配人の原尚徳さん



定置網活魚コーナー

# 相談窓口を通じた秋市への移住世帯が200世帯に

秋市は2006年に「定住総合相談窓口」（17年から「秋暮らし応援センター」に変更）を開設し、空き家情報バンクをはじめとした移住支援に取り組んでいる。毎年約400件の相談があり、過去5年では年間に13〜31世帯が移住している。

この相談窓口を通じた移住世帯数が累計で200世帯となり、3月26日、200世帯目となった防府市出身の手嶋穰さん（20歳、上

小川）に記念品を贈った。

手嶋さんは、3月に山口県立農業大学校（防府市）を卒業し、4月に小川地区にある農事組合法人「日の出」に就職した。農業大学校では温州ミカンなど果樹を中心とした研究に取り組み、農事組合法人では水稲、野菜などを生産する。

秋暮らし応援センター  
0838・25・3819

# 秋市は「住みたい田舎」ベストランキング「子育て世代が住みたい田舎部門」で25位

「田舎暮らしの本」2月号（宝島社発行）において、2018年版第6回日本「住みたい田舎」ベストランキングが発表された。

同誌では、魅力的な移住先を探るため、全国の市町村を対象に独自アンケートを実施している。移住支援策、自然の豊かさ、医療、仕事、子育て、災害リスク、移住者数など194項目のアンケート結果を基に、全国の市町村を人口10万人以上の「大きなまち」と10万人未満の「小さなまち」に分けて計8部門のランキングを発表

した。

その結果、秋市は小さなまち「総合部門」で36位に、「若者世代が住みたい田舎部門」で27位、「子育て世代が住みたい田舎部門」で25位となった。

山口県内の小さなまち、13市町のうち、秋市のみがランキングに入った。

藤道市長は「評価の高い分野の質を高め効果的にPRして、評価の低い分野を創意工夫で補うことにより、秋市の魅力を



▽左から手嶋穰さん、藤道秋市長、農事組合法人「日の出」代表の橋本忠男さん



高めていくことが、人口減少対策になる」と話している。

小さなまち「総合部門」1位は北杜市（山梨県）、2位豊後高田市、3位臼杵市（いずれも大分県）。

△「田舎暮らしの本」2月号

# 「松陰先生のことば」朗唱文（下）

「5年生」  
誠は天の道なり 誠を思うは人の道なり 至誠にして動かざるは 未だ之れあらざるなり 誠ならずして未だ能く動かすはあらざるなり

一誠というものは人のつくったものではなく、天の自然に存する所の道である。この誠というものに心づいて、これに達しよう、これを得ようと思うのは即ち人の人たる道である。学んでこれを知り、つとめてこれを行うのは人たるもの道である。このように、誠の至極せる心に会っては、何物も感動されないものではない。誠というものはすべての元になるものである。

「6年生」  
体は私なり 心は公なり 私を役して公に殉う者を大人と為し 公を役して私に殉う者を小人と為す

一人間は精神（心）と肉体の二つを備えている。そして、心は肉体よりも神（神性）に近いが、肉体は動物に近い（自己本位）。ここでは、精神を公とよんで主人とし、肉体を私とよび、従者とする。すなわち、人間は公私両面を備えている。なお、精神を尊重するのは、良心を備えているからである。

主人たる心のために従者たる肉体を役するのは当然のことである（君子）の為すところ。これに反し、従者たる肉体のために、主人たる精神を役するのは、小人（徳のない人）の為すところ。同じことを繰り返すが、肉体（私）を役して、徳を修め、道を行うことに心がける者は大人、反対に、道心、天理（公）を犠牲にして肉体（私）の欲望を満足する事を目的とするものは小人。

□秋ものがたり第21号

吉田松陰 人とことば  
関厚夫（産経新聞編集委員）  
好評発売中（累計1万2千部発行）  
510円（税込）  
申込 秋ものがたり事務局  
0838・25・3233





# 明治維新150年に合わせ、 萩城下町の交通アクセスが大幅に改善

堀内地区と平安古地区を結ぶ幹線道路「今魚店金谷線」を山口県が整備し、既に開通している1期区間約700mと合わせて、3月末に全長約1000mが開通した。

1期区間は菊ヶ浜沿いの県立萩看護学校の交差点から春日神社近くの平安古・城東橋まで。残りの2期区間は2010年から事業が始まり用地買収などを経て、ようやく萩商工高校近くの国道191号に接続した。

国道191号と城下町、萩博物館を直結する道路が完成し、観光客などから道が分かりにくいと言われていた、萩中心部から萩城下町への交通アクセスが大幅に改善した。

これまで萩を訪れた観光客は、観光起点の萩・明倫学舎や外国人に人気の県立萩美術館・浦上記念館から、萩博物館や城下町、堀内伝建地区に行く場合、三角州の外側を大回りする必要があった。

開通後は、観光客の周遊性が高まるとともに、城下町周辺の住民にとっても、



国道191号交差点(萩商工高付近)

市役所方面などへのアクセスが一段と向上した。

# 新山口駅 4月から「スーパーはぎ号」のバス乗り場が 南口(新幹線口)から北口に変更、時刻表も変更

JR新山口駅の北口駅前広場が完成し、これまで北口(在来線口)と南口(新幹線口)に分散していた路線バス乗り場が北口東側ロータリーに集約された。これに伴い、4月から「スーパーはぎ号」の時刻表が変更になった。

バス乗車場を6カ所、降車場を2カ所設けたほか、観光情報などを発信する観光交流センターや県内産の食材を使った食を提供するカフェがオープンした。



新幹線改札を出て右側、約100mの垂直庭園がある南北自由通路を通過して北口へ

■運行区間 JR新山口駅～萩・明倫センター(萩・明倫学舎前)～萩バスセンター～JR東萩駅

■所要時間 約60分(中国自動車)

■料金 大人1550円、小児780円  
道と小郡萩道路を利用

## 時刻表

新山口⇒萩

新山口駅 新幹線口	萩・明倫 センター	萩バス センター	東萩駅
9:40	10:40	10:45	10:50
10:55	11:55	12:00	12:05
12:25	13:25	13:30	13:35
13:25	14:25	14:30	14:35
14:25	15:25	15:30	15:35
16:25	17:25	17:30	17:35
17:25	18:25	18:30	18:35
18:25	19:25	19:30	19:35

萩⇒新山口

東萩駅	萩バス センター	萩・明倫 センター	新山口駅 新幹線口
8:10	8:17	8:22	9:25
10:10	10:17	10:22	11:25
12:15	12:22	12:27	13:30
13:10	13:17	13:22	14:25
13:50	13:57	14:02	15:05
14:50	14:57	15:02	16:05
16:15	16:22	16:27	17:30
18:00	18:07	18:12	19:15



2番乗場 萩方面 スーパーはぎ号

## 4月から秋市ふるさと寄付返礼品を一新、 265品目！

秋市ではこれまで、市外在住で寄付をいただいた方に対して、感謝の気持ちとして市の特産品をお送りしてきました。平成29年度のふるさと寄付金額は約6805万円でした。

今年4月2日から、ふるさと寄付を通じた秋市の更なるPRのため、新たに10段階の寄付額区分を設け、それに応じたお礼の品を取り扱うことになりました。それに伴い、返礼品数を平成29年度取扱いの数の134品から、265品と大幅に拡大しました。

### ■寄付額区分に応じた返礼品の取扱いについて

平成29年度は、1万5千円以上



巾着入り抹茶碗＝萩焼は、日用品から工芸品まで、多様な96種類を用意しています



宿泊券(ペア1泊2食付)＝価格区分を拡大したことで、旅館宿泊券の取り扱いも始めました

### ■課題解決型、体験型のお礼の品を新たに追加

平成30年度からは、従来の食用品・工芸品等の返礼品に加え、地域の課題解決につながるサービスや、萩の魅力を満喫できる体験型のお礼の品の取扱いを開始しました。

- ・課題解決型 空き家管理(見回り、家財処理、清掃等)、お墓の清掃(※)
- ・体験型 萩焼手びねり、明治時代の衣裳着付け・人力車で城下町巡り・写真撮影

※秋市外在住で、市内に管理が必要な空き家やお墓をお持ちの方向けのサービスです。

### ■お申込・ご利用方法

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」または、郵送 FAX、電話、メールからお申し込みいただけます。ご入金はクレジットカード決済(ふるさとチョイス受付のみ)、郵便振込、口座振込、現金書留、窓口払いの5つからお選びいただけます。ご入金確認後、お礼の品を発送します。

### ■問い合わせ

秋市企画政策課  
0838・25・3102

## 映画「八重子のハミング」主演俳優 升毅さんが秋ふるさと大使に

秋市の魅力を全国に発信する「秋ふるさと大使」に、秋市を舞台にした映画「八重子のハミング」で主演を務めた俳優の升毅さん(62歳、東京都在住)が就任した。4月9日に東京都内で委嘱式があり、藤道健二市長から委嘱状と大使の名刺を手渡した。

など全国の映画館で舞台あいさつに立ち、また、昨年夏には日本テレビ系の旅番組「遠くへ行きたい」で萩をPRした。

### ■萩の魅力は人の温かさ

委嘱式で藤道市長は「今年度は明治維新150年。秋市の情報発信にお力添えを願いたい」と話した。升さんは「すばらしい映画に関わり、すばらしい場所と出会って、本当にうれしい。萩の魅力は人の温かさ。萩の魅力を多くの人に伝えていけるよう、できる限りのことをやっていききたい」と意気込んでいる。

映画「八重子のハミング」は、若年性アルツハイマー病を発症した妻八重子を、がんと闘いながら10年以上献身的に介護した日々を描いた元秋市教育長の陽信孝さんの手記が原作。2016年10月から山口県内先行上映、17年5月から全国公開、100館以上のロングランヒットとなった。升さんは、上映にあたり東京都内、山口県内

### ■秋ふるさと大使

・秋市のまちづくりへの助言・情報提供、秋市の産業・歴史・観光情報などの情報発信などを行う。  
・現在18名。うち秋出身者等は、井関隆行(萩大志館代表)、梶山高志(萩ビケンテクノ代表取締役会長)、きただにひろし(歌手)、桐木憲一(漫画家)、佐々部清(映画監督、下関市出身)、田子みどり(株コスモピア代表取締役社長)、中野勝利(トーフレ株代表取締役社長、長門市出身)、山本和智(作曲家)の7人(敬称略)。





えぐち いおり  
江口伊織さん

(萩市出身、東京都在住、萩高校  
昭和62年卒、49歳)



江口伊織さん



祖母熊谷愛子と主屋にて(篠山紀信撮影)

東京指月会50周年記念大会を終えて

昨年10月28日、創立50周年を迎えた東京指月会が東京丸の内工業倶楽部で開催されました。記念す

べき半世紀の年の引き受けという大役を任された私達39期は、当初戸惑いながらも、諸先輩方のお力添えの下、藤村毅君を代表とする同期で、文化祭さながら準備に勤しみました。仕事に家庭にそれぞ

れが多忙を極める中、利他の心で尽力する友の姿を前に、文武両道をモットーとする萩高時代、全力で駆け抜けた一生懸命な日々が甦りました。

有言実行で皆を先導してくれた中村和彦君の「みんなの喜ぶ顔が見られたら、それでええんよ」という言葉に、忘れかけていた大切なことを思い出させてもらえた気がしました。お互いを思いやり、助け合いながら成し遂げた後の心地よい達成感に、長いこと放つておいた宿題をやつと提出できた気持ちになりました。

世の光、地の塩となろう

幼稚園から中学までお世話になった萩光塩学院での日々もともに懐かしい思い出です。これまで人生のさまざまな難所を乗り越えてこられたのは、恩師鶴元香代子先生はもとより、自分という小さな存在をありのまま受け止めてくださった先生方と、一人ひとりの個性を認め、各々の氣質を良い方向に伸ばしてくださる光塩学院の教えがあったからこそと深く感謝しています。母校の益々の発展を祈念しつつ、世の光、地の塩となるよう、心の鏡を磨きつつ精進してまいれたらと思います。

重文熊谷家、そして熊谷美術館と共に

最後になりましたが、自分は現在、公益財団法人熊谷美術館の理事長として、国指定重要文化財熊谷家住宅の管理運営に携わっています。近年、全国的に文化財の保存活用が謳われておりますが、重文熊谷家住宅もこれまで、茶会、花会、音楽会、講演会など、皆様にお力添え、ご活用いただいております。先人達を敬い、古き良きものを大切にしていくことは、より良い未来を築いていくことにつながると文化財は私達に教えてくれます。今後も皆様のお力と共に日本の貴重な文化遺産を後世に継承していきけるよう尽力いたします。

熊谷家は江戸時代から代々長州藩の御用商人を務め、1965(昭和40)年開館の美術館には、歴代当主が収集した美術品が展示されています。中でも文化愛好家であった四代にシーボルトより贈られたピアノは、現存する日本最古のピアノとして広く知られています。当家は茶道表千家との関わりも深く、本年2月のお家元の御襲名を祝し、現在は今まで非公開だった利休の書なども展示しています。明治維新150年を記念し、当家と親交の深かった貴人の書も展観中です。ご帰省の際は、お立ち寄りいただけると幸いです。受付でお声かけくださり、自分が居りましたら、お茶の一服でも差し上げた、皆様のお越しを心より

お待ち申し上げております。

プロフィール

1969(昭和44)年、萩市生まれ。萩光塩学院小学校、同中学校、萩高校87(昭和62)年卒業(39期)。玉川大学文学部教職課程91年卒業、同大学芸術学部芸術課程修了。(株)ホテルニューオータニ入社、同社美術館勤務  
(公財)熊谷美術館理事長2016年就任、茶道表千家、男子二人の母

■(公財)熊谷美術館・国指定重要文化財熊谷家住宅  
萩市今魚店町47番地  
0838-22-7547

休館日 月・水・金曜日(祝祭日は開館、翌平日休館)  
開館時間 午前9時〜午後4時



熊谷美術館

# 萩大志館の企画事業 萩の中学2年生が「東京遊学ツアー」

## 萩出身者の企業5社をOB訪問、 旅費は萩出身者が支援



企業訪問 roar社（濱中三朗さん）

世界を舞台に生きる。眼差しの奥に感じた、ふるさとへの想い。

3月27日から28日にかけての1泊2日で、萩市内の中学2年生6人が、東京で働く萩市出身者の企業5社をOB訪問し、東京で働くリアルな世界に触れ、故郷萩を外から見る体験をしました。

この「東京遊学ツアー」は、首都圏で暮らす萩出身者等で構成される「一般社団法人萩大志館」（代表理事 井関隆行）と、萩市に本店を置く旅行会社（株）エヌ・ティー・イー旅行（代表取締役 阿川仁海）

が共同で企画・実施したものです。市内中学2年生全員に学校を通じて募集チラシを配付したところ22人の応募があり、選考により女子生徒5人、男子生徒1人の計6人がツアーに参加。携帯電話会社、商社、食品会社など5社を訪問。松陰神社も参拝しました。

**参加費2千円。**  
**出身者が受入れ**

ツアーの参加費は2千円で、残

りの経費は全て萩大志館の寄付金で賄われ、当日は萩出身者が協力して参加生徒たちをアテンド、夜には30〜70代の出身者が歓迎会を開催。交流を深めました。

### 都会で生きるか 故郷で生きるか

帰萩して同月30日には、6人の参加者のうち4人が参加して「振り返り会」も行われ、何を感じて、どういった心の変化があったのか、感想を共有しました。

「萩で生まれたことを誇りに思い、感謝の気持ちを忘れず勉強に励みます」、「都会で生きるか萩で生きるか決められませんが、今回

のツアーで萩の良さがわかり、ふるさと萩を大切にしたいと思いましたが、「一度都会に住んで、また萩に戻ってきたい」といった感想もあり、参加生徒たちになんらかの「心の発動」があったことがわかりました。

### 『萩支民』を育てたい

萩大志館の井関隆行代表は企画・意図について「高校受験を前に、都会のすごさと萩のすごさを同時に知ることで、人生の選択肢を増やせる機会。同じ萩出身の大人達から受けた刺激をきっかけに、自らの夢・才能を開花させてほしい」と語ります。

加えて「イン



企業訪問 ROBOT COMMUNICATIONS社（古谷憲史さん）  
東京の最先端、そこにいたのは同じ萩生まれの先輩。

ターネットやSNSが、ふるさととの距離・関わり方を大きく変えました。私たちは萩を離れても、萩と常時接続して、いろいろな活動ができます。どこで生きようとも、その時代の手段・技術を駆使して萩を支える人材『萩支民』が育つことを期待している」と話しています。

萩大志館では今後も、民間ならではの教育カリキュラムを作ることで公教育を補完し、萩の子供の教育環境を補強していきたいと考えています。同法人のホームページ（「萩大志館」で検索）では、事業創出のための資金として、毎月500円から寄付できる「マンスリーサポーター」を募集しています。

### ■萩大志館

民間の萩出身ビジネスマンによって設立されたふるさと支援団体。2006年から活動開始、17年10月に一般社団法人化。幹部には東京指月会の鹿野俊二氏ら。



萩の先輩方による歓迎会  
東京にもあったかい萩の家族がありました。



# 株式会社ネットケアサービス 取締役兼営業部長

金子 竜二さん (48歳)



金子竜二さん



萩テクニカルセンター

## 萩から最先端で活躍できるシステムエンジニアを 育てたい

2016年、萩市椿東に開設された株式会社ネットケアサービスの萩テクニカルセンター。大阪に本社を構えるネットケアサービスは工業系(半導体・液晶・ソーラーパネルなど)のコンピュータネットワーク設計・構築・保守などの事業を手がけ、萩テクニカルセンターでは主にソフトウェア開発をしています。

そのネットケアサービス取締役であり、萩テクニカルセンター設立に尽力された萩市出身の金子竜二さんにお話を聞きました。

### システムエンジニア

少年時代は、スポーツや体を動かして遊ぶことが好きな少年でした。また、今の仕事につながっているかどうか分かりませんが、壊れた家電を分解するのも好きでした。

た。そんな私が、このシステムエンジニアとして歩み始めたのは旧NEC山口に就職してから。大学時代、ほとんど遊びもせず、パソコンといえばゴルフゲームをするくらいだった私でしたが、計画部(システム)配属となり、知識が全くないところからのスタートとなりました。ただ、配属先は、最新のスーパーコンピュータを使っていたので、誰もがゼロから勉強しないといけない環境だったのは幸運でした。そうして22歳から27歳まではフルオートメーション工場の生産制御システム開発などを手がけました。

### 退職希望

27歳になり、退職を申し出たところ、NEC本社側に出向が決まり、半導体情報システムセンターに配属され、半導体生産制御システムのインフラ設計業務に従事します。大きな仕事でいえば、中国の国家プロジェクトのネットワーク設計などもあり、やりがいもありましたが、転職したい気持ちには消えず、29歳のときに退職願を出したところ、取引会社である(株)アルダックを薦められました。当時、NECは転職する社員にも優しく、温かく送り出してくれました。そうして転職したアルダックではネットワーク部門を受け持つ子

会社ネットケアサービスを設立したばかりで、私はそのままネットワークケアサービスに出向となります。それから約20年、現在では取締役までさせてもらっています。

### winwin

萩テクニカルセンターの設立を考えたのは、帰省したとき集まった同級生に「萩市にはIT企業がない。作ってほしい」と言われたことから。ちょうどIT業界では中小企業のノウハウを残していかなければならない時代に入り、それは東京ではなく田舎ではないかと私は考えていました。

国内の人口減少とともに労働力の確保が難しい時代となり、都市部で雇用すると賃金が割高になり、対して経済が縮小している田舎では、労働力不足でも賃金を上げることは難しい状態にあります。ならば、田舎でプログラマを育て、ソフトウェア開発ができるようになれば、田舎の平均賃金以上で雇用することができ、また我々のような中小IT企業にも人材確保とノウハウの蓄積の両面で助かり、双方にメリットがあるからです。

### 萩で最先端

現在、萩テクニカルセンターは業務を開始して2年目を迎え、計画どおりか、若しくはそれ以上のペースで人材育成を施し、雇用を

増やしています。決して大規模なものではないですが、山口県内でサテライトオフィスを設けている企業で人員を着実に増やせているのは弊社を含め数社と聞いております。本年度も昨年同様に地元萩商工高校からの新卒採用もしました。

この業界は学歴に関係せずやっていけるところも多くあり、取得資格により首都圏の人材と同じ評価をもらえる事も少なくありません。そこで、萩テクニカルセンターではIT試験を受験できるようにもしています。今後はIT教育ビジネスの展開も考えており、ネットワーク技術で距離をなくし、萩から最先端で活躍できるプログラマ、エンジニアを輩出し、地元経済の活性化に寄与することができればと思います。

### 株式会社ネットケアサービス

・本社 〒535・0021  
大阪府大阪市旭区清水5・13・16  
設立1998(平成10)年9月  
資本金 4千万円  
・萩テクニカルセンター  
〒758・0011 萩市椿東  
2290・1

### 金子竜二プロフィール

椿東上野出身、萩高校昭和63年卒(40期)、福岡工業大学卒業後、大手電機メーカーNECで技術者として活躍。



## シリーズ くちこみグルメ

道の駅ゆとりパークたまがわ内

まつかぜ  
ダイニング松風



三種井 1200円



松風膳 2500円



オーナーシェフの松岡洋祐さん



4人テーブル5、2人テーブル4など37席の店内

今年1月11日、「道の駅ゆとりパークたまがわ」にオープンしたダイニング松風。自然豊かな萩で獲れる優良な素材を敢えて和洋食の定番料理にして提供されるレストランです。

**Uターン後に「レストランまつおか」を開業、人気店に**

オーナーシェフは同じく田万川に「レストランまつおか」を構える松岡洋祐さん（40歳）。松岡さんは20歳から京都の新阪急ホテルで5年間ほど洋食調理を学び、その後、京都の創作フレンチレストランで5年間勤めました。

30歳のときに、家業である明治創業の旅館「小室屋」（江崎）を

継ぐことを決め、帰郷、老朽化が進んだ旅館のリニューアルとともに9年前にオープンしたのが「レストランまつおか」です。その後、松岡さんの料理を求めて地元だけでなく遠方からもお客さんが訪れる人気店となりました。そのノウハウと蓄積してきたデータを基に、2号店として出店したのが「ダイニング松風」で、オープンから4カ月、既に1号店以上の勢いで人気店となっています。

**オススメメニューは丼もの**

メニューの方はというと、行き交う人が訪れる道の駅ということでも、「レストランまつおか」と差別化を図り、基本、時間を要さないものばかり。長州鶏の親子丼、むつみ豚のカツ丼、牛すじ丼、海鮮丼と地元食材を使った丼シリーズの中でも、人気でオススメなのがミニ長州鶏の焼き鳥丼、ミニむつみ豚の生姜焼き丼、ミニ海鮮丼の3種類の丼がセットになった三種丼です。

また定食シリーズでは、見蘭牛のハンバーグ定食、地元で揚げられる鮮魚を使ったお刺身定食、長州鶏のから揚げ定食、むつみ豚の生姜焼き定食、同じくむつみ豚のトンカツ定食と地元ブランド食材押し定食がズラリ。

その他、極上の黒毛和牛「長萩和牛」の鉄板焼き、刺身、天ぷら

などバラエティに富んだ自慢の松風膳や海の幸、山の幸の旬を存分に楽しめる旬菜弁当など、ちょっとリッチに楽しみたい方向けのメニューから、スパゲティ、オムライス、カレーと定番料理やお子様ランチまでも逸品となっています。そして、県内で提供しているお店は僅かといわれる、クレミアソフトクリームやディップ、ピンドッツというプレミアムアイスクリームを提供し、それを目当てに訪れる方もおられるほど。更には、不定期ですが、バイキングデーも設け、運転の休憩に訪れる方や観光客だけでなく、地元の人にも注目を集めています。

「道の駅ゆとりパークたまがわ」で、ザ・萩食材、を気軽に堪能できる特別なレストランです。

■ダイニング松風

〒759・3112 萩市大字下

田万2849・1 道の駅ゆとり

パークたまがわ内

営業時間/11時～19時

定休日/月曜日（祝日の場合は営業、翌火曜日が休み）

TEL08387・2・1180

■松岡洋祐さん

多磨小、田万川中学校、益田高校

卒業

# 連載 萩の産業遺産を歩く (六)

— 沖原鑄造方跡 —

## 郡司鑄造所跡に勝る巨砲鑄造施設

沖原鑄造方跡は、萩市を流れる阿武川沿い、国道二六二号線南側の萩市椿沖原に所在する。「鑄造方址」と刻まれた石碑がひっそりと建っているのだが、沖原というバス停留所が目印となる。すでに当時の面影はまったくなく、ここにはかつて、松本の郡司鑄造所をはるかに上まわる規模の大砲鑄造所があったと考えられる。



椿沖原の「鑄造方址」石碑

ところが、『萩市史』をはじめとする各種文献には、沖原鑄造方についての記事が一切ない。『防長回天史』でさえ、沖原鑄造方については断片的にしか言及しておらず、実態がよくわからないのである。なお、これも前回紹介した青海郡司鑄造所跡と同様、萩市は「沖原鑄砲所跡」として周知の埋蔵文化財包蔵地に指定しているが、発掘調査は行われていない。

このように、とても判断が難しい状況であるが、『もりのしげり』(時山弥八著)には辛うじて、文久三年(一八六三)に「大砲鑄造方」を設置したと記載されている。大砲鑄造方は、萩のほか、吉敷郡鑄銭司村、同郡今宿村、小郡福田(以上、山口市)の三カ所にも設置されたという。文久三年といえは、長州藩が下関海峡で攘夷実行をした年である。よって、おそらく萩の松本と青海の両郡司鑄造所では大砲生産のキャパシティーに無理が生じたため、別途新規に沖原や鑄銭司、今宿、福田にも大砲鑄造所を開設したのではないかと筆者は推測している。

これに対し、沖原鑄造方跡を現地調査した大橋周治氏は、設備の規模から判断して、小銃よりもむしろ大砲を製造したのではないかと推測した(『幕末明治製鉄論』)。現に「鑄造方」という名称を見ると、鍛造が主であった小銃よりも鑄造が主であった大砲のほうがふさわしそうである。鍛造は金属素材を加熱し、ハンマーで叩いて成形し靱性を与える加工法のこと、鑄造は金属を熔解して型に流し込み成形する加工法のことである。

### 模型写真にみる 沖原鑄造方跡

沖原鑄造方の開設の経緯は今一つすっきりしない状況だが、当時のような設備を有していたかを知る手がかりはいくつか残っている。まず、跡地を訪ねてみた感触であるが、先に述べたように、現在はどこにどのような施設があったのか、ほとんど見当がつかない。ただし、そこにかつて大砲の鑄込場があったことを想像させる



沖原鑄造方模型写真(萩博物館蔵)

写真左下側に「沖原鑄造方模型」という文字が見えるが、文字が右から左へと書かれているため、昭和前期のものとみられる。

石組の断片が、かすかに残されている。そこで重要になってくるのが、萩博物館所蔵の一枚の古写真である。この写真は、かつて萩市立椿西小学校に保管されていた沖原鑄造方模型を撮影したものである。だが残念ながら、この模型自体は現在行方がわからないため、古写真が貴重な資料となっている。

置したり、鑄込んだ大砲を取り出したりするための出入り口がつくられている。円錐形の石組の上方には、片流れ屋根の小屋が六つほど見られる。これは、在来技術の踏輪と甑炉によって青銅を熔解するための装置である。

次に、円錐形の石組の前方にある水路に注目したい。この水路の中央に水車小屋が建てられている。なぜ水車が必要だったかという点、砲身に砲腔(弾を発射する穴)を空けるため、錐を回す動力として利用したからである。水量が豊富にある阿武川沿いだからこそ、水車の設置が可能だったのだ。

実は水車があるか否かに、松本郡司鑄造所と沖原鑄造方との最も大きな違いがある。前者では砲身を鑄込む際に中子(芯棒)を使用していたため、最初から砲腔が空いた状態で大砲が造られた。後者では砲腔が空いていない状態の砲身を鑄込み、後から錐で空けていた。同じ在来技術(和の技術)を利用した巨砲(洋式大砲)の鑄造でも、中子を使用すると気泡ができやすいため、砲弾を発射した時にヒビ割れしたり、破裂したりするおそれがあった。一方、後から錐で砲腔を空けると破裂しない確率が格段にあがった。ここに、長州藩における大砲製造技術の進歩の跡が読み取れるのである。

### 謎の多い沖原鑄造方跡

沖原鑄造方は、万延元年(一八六〇)、長州藩の鉄砲鍛冶師であった荒地清蔵がこの地を拝領したことに始まるとされ

る。荒地はその前年の安政六年(一八五九)、藩命により江戸へ行き、洋式銃の技術を学んだ後、江戸の細工人吉之助らを伴い萩に帰った。荒地はこの地で、従来の和流十刃筒(火繩銃)にかえて洋式のケベール銃の製造を行ったとされている。

それでは、この古写真を頼りに鑄造方の設備を確かめてみよう。まず、一番目立つのは、中央やや左寄りのこんもりとした部分である。これがすなわち、大砲の鑄込場である。石が円錐形に数段



## 萩市の特徴ある自然素材を加工した商品「竹すだれ」

「萩の風」では、萩市にある自然素材を加工した商品を取り扱っています。今回は、平井製籾所が製造する「竹すだれ」をご紹介します。

萩市の竹は良質なことから、竹産業が盛んでした。現在は需要の衰退等により規模が縮小されていますが、この竹すだれは、伝統技法を守り続け、製作工程すべてを手作業にこだわり、「高級和籾(すだれ)」として市場で取り扱われております。丁寧に作り込まれた籾は、使い込むほど色あいに深みが増し、萩市の竹素材の良さもあいまって100年以上使用できる製品となっています。店舗では、籾の素材を使用した、テーブルセーターやコースター等小物類も取り揃えて販売していますので、お気軽に買い求めいただけます。

このすだれの特徴は、すだれを構成する一本一本の「竹ひご」にあります。手作業で竹の表面を削っていくため、竹の節の部分が盛り上がった形状のひごに仕上がります。組み合わせられたきれいな模様となります。また、すだれを編みこむ際には節の距離を調節し、左

右対称かつ一定の枠内に収まるよう緻密に計算されています。

制作している平井恒夫さん(84歳)は、手作りによる優れた製作技術を持ち、平成17年に山口県優秀技能者知事表彰を受賞。平成18年には「現代の名工」として、厚生労働大臣表彰を受賞。代表的な作品としては、平成17年に完成した京都御苑内の迎賓館からの依頼で、35枚の「お座敷すだれ」を納入されています。

### ■平井製籾所

萩市大井5029

TEL0838・28・0108

■まるごとにっぽん「萩の風」

東京都台東区浅草2・6・7

TEL03・5828・5055

### 高級和すだれ

使い込むほど色あいに深みが増し、

100年以上使用できる製音品



## 道の駅・萩しーまーと通信 旬のお魚「萩のイサキ」

5月上旬、萩のまちじゅうに夏みかんの花が咲き柑橘の爽やかな香りが広がるころから、萩魚市場では脂ののったおいしいイサキが漁獲されます。

「麦わらいサキ」という呼び方から一般的には夏を代表する魚というイメージですが、萩のイサキの水揚げは5月から梅雨時期にかけて最盛期を迎えます。

見た目には黒と茶褐色の縞が特徴的な魚です。若いイサキほどこの縞模様がはっきりしています。

### 山口県の漁獲量は全国2位ブランド魚種に

山口県はイサキの漁獲量が全国でもトップクラスで、萩沖は主な漁場となっています。農林水産省海面漁業生産統計調査より平成28年都道府県別イサキ漁獲量をみ



萩で水揚げされた脂のりのよいイサキ

ると山口県は384トンの水揚げがあり、長崎県について全国2位です。県内では萩沖を含む日本海側の北浦地区がイサキ生産量の最大の漁場となっており、市町村別の統計をみても萩市のイサキ漁獲量は過去5年全国10位以内。全国有数のイサキの産地と言えます。

平成27年から、県内で漁獲され、脂質10%以上が見込まれ、重量が400g以上の基準を満たすイサキは「やまぐちのいさき」として、山口県のブランド魚種に認定されるようになりました。萩は漁場と市場が近いことから、鮮度を保ったまま水揚げされており、漁獲後素早く氷をうち、丁寧に箱詰めされています。丸々として、おなかのあたりまではりがありよく肥えたイサキがこの時期萩魚市場にズラリと並びます。

### お刺身が絶品、霜皮造りがお勧め

新鮮で旬を迎えたイサキのお刺身は絶品です。脂がしつかりのりほのかな甘さを感じさせます。身は淡い紅色で弾力があり、こりつとじつつもやわらかな食感です。イサキは皮をつけた切り身に熱湯をかけた後、氷水で冷やして

刺身をひく「霜皮造り」がお勧めです。皮と身の間にイサキ独特の旨みがあります。

上品でクセのない白身の魚なので、塩焼きや煮つけ、ムニエルなど欧風料理にも向いています。火を通した後のふくらみとして弾力のある身は旨みたっぷりです。夏みかんの花が香る萩で、ぜひ旬のイサキもお楽しみください。



イサキの霜皮造り

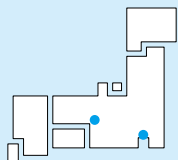
### 「萩の瀬(なげ)のついで」

瀬つきあじの水揚げ即売、瀬つきあじ握り寿司無料試食、瀬つきあじ一夜干し無料試食、水産加工品など特産品販売ほか。  
7月1日(日) 午前10時〜午後1時(予定)

山口県萩地方卸売市場・道の駅萩しーまーと

(0838・24・4937)

## 同窓会・同郷会だより



情報  
ください  
!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。  
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿 

1月20日 パンダリア (大阪府)

### 関西・東海ふるさと阿武町会



関西・東海圏在住の阿武町出身者で組織する、同郷会「関西・東海ふるさと阿武町会」の第2回大会が1月20日、大阪府内で開催され、55名が出席しました。「東京ふるさと阿武町会」に続き、都市住民との交流強化を図るため設立され、今年で2年目を迎えます。

大会では会長の伊藤孝さん(宇田浦出身)があいさつ。来賓の花田町長は山陰道の進捗や県道益田阿武線の改良について報告しました。懇親会では参加者の自己紹介や近況報告、最後には3地区の出身中学の校歌を生ギターの伴奏で斉唱するなど、旧交を温めて大いに盛り上がりました。

阿武町まちづくり推進課

会員投稿 

3月18日 阿波尾鳥 (東京都)

### 萩商工高商業科昭和38年卒同期会(関東38会)



今回は六本木の毛利庭園、テレビ朝日、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、檜町公園を訪ねました。ここは昔、萩藩毛利家の下屋敷と周防毛利家の中屋敷があったところです。3万6800坪もの屋敷跡は、今では超巨大ビルが建ち、近代的な商業施設と情報の発信基地に変貌していますが、毛利庭園と檜町公園には当時の面影が残っています。毛利家の権勢を知ることができた同期会となりました。

坪井良子(東京都在住)

## 至誠館大学長に野村前市長 「松陰研究所」を開設

萩市椿東の至誠館大学の新たな学長に4月1日、野村興児・前萩市長が就任した。任期は4年間。  
野村前市長(73歳)は、合併前の1993年10月から2017年3月まで萩市長を務め、市長在任中から学校法人至誠館理事に就任するなど大学運営に関わり、昨年10月からは非常勤講師をしていた。



#### ■至誠館大学

至誠館大学の前身は、1967(昭和42)年萩市に開学した萩女子短期大学であり、母体は、山口県北部および島根県西部における唯一の4年制私立大学として1999(平成11)年に開学した萩国際大学。2007(平成19)年に社会学・社会福祉学系学部を増設して山口福祉文化大学と名称変更。08年にサテライト教室を東京に設置。

「地方創生の原点は教育だと思ふ。大学の果たす役割があるので。萩の自宅から、家業を手伝いながら通えるような学生を増やせるよう努力したい」と話し、萩光塩学院と協定を結ぶなど萩市内高校との連携を進めていることを発表した。

2014(平成26)年4月、幕末の萩の教育者吉田松陰が座右の銘としていた「至誠」をとって至誠館大学に改称した。ライフデザイン学部を1学部1学科。



# 奈古高校70年の歴史が萩高校奈古分校に引き継がれる

3月1日に奈古高校卒業式及び継承式が行われ、25人の生徒が新たな旅立ちを迎えました。

1948（昭和23）年に、農業の担い手を育成するための実業高校（農業科、家庭科）として創立。地域の大きな期待のもと、9433人の卒業生を輩出した奈古高校の70年の歴史が、萩高校奈古分校に引き継がれました。

在校生代表送辞では卒業生との思い出や感謝とともに「先輩方の姿を心に刻み、奈古高校の伝統を

私たちが継承します」という決意が述べられました。

継承式では、卒業生の代表が奈古高校の校旗を萩高校奈古分校総合学科2年生に手渡し、校旗の継承を行いました。最後は校歌を歌い、奈古高校70年の歴史に幕を下ろしました。

少子化の今日、日本全国で学校の統廃合が進められている中、奈古高校が廃校ではなく、継承され萩高校の分校として町内に存続することに安堵しています



奈古高校継承式

## 阿武町の新年度予算

### ソフト・ハード両面で定住対策に重点

昨年5月に就任した花田憲彦町長にとって初の本格的な予算編成で、定住対策に重点を置いた。一般会計は27億2300万円。ソフト・ハード面での定住対策として、大きく4つが挙げられます。

一つ目はお試し住宅。短期間滞在して「地域を知り、暮らしを体験する」移住体験滞在施設を新たに1戸取得し、移住を考えている方へお試し住宅として利用してもらえます。

二つ目は一般住宅の建築。若い世代の定住を促進するため、旧奈

古高校教職員住宅跡地に定住促進用の住宅1棟4戸を建築します。

三つ目は分譲宅地の造成。若者等の定住条件を充足するための受け皿となる快適な住環境の整備を目指し、29区画の柳橋分譲宅地を整備し、今年秋頃に売り出しを開始する予定です。

四つ目は「阿武町暮らし支援センター」の開所。移住定住及び地域住民等の交流促進を図るため、平成29年度にDIY等で整備した旧奈古薬局を、新たに「阿武町暮らし支援センター」として開所。



阿武小学校前の柳橋分譲宅地(今年秋頃から売出開始、坪当たり3～3.3万円、全29区画)

また、当センターには専任の集落支援員1名を配置します。

## 木間小中学校 閉校式

### 135年の歴史に幕

市中心部から車で30分ほどの山田の山間部にある木間小・中学校の閉校式が3月18日に行われ、卒業生や保護者約220人が集まった。閉校式では、最後の卒業生となる4人があいさつした後、この日のために教師が作った歌を全員が熱唱し、思い出の詰まった母校との別れを惜しんだ。

明治15（1882）年に玉江小学校木間分校として開校。昭和22（1947）年に木間小学校となり、翌年に中学校が開校した。

ピークの昭和34年度には児童生徒数は134人を数えたが、地域の少子化が進み、平成29年度は小学6年1人、中学3年が3人だけとなった。これまでに小学校1085人、中学校485人の卒業生が巣立った。

4月から木間地区の校区は約14キロ離れた白水小学校と約15キロ離れた萩西中学校になる。閉校後の校舎や体育館は、地域コミュニティ活動の拠点として活用される。



木間小・中学校閉校式



「自主・敬愛・剛健」閉校記念碑





## 萩・明治維新150年祭

■「本因坊戦7番勝負第一局萩対局」

囲碁界の七大タイトル戦で最も伝統ある本因坊戦が萩市で初めて開催。国民栄誉賞受賞の井山裕太九段が挑戦者と対局。

5月15日(火)・16日(水) 午前9時

萩・明倫学舎

■「旧萩藩校明倫館有備館・剣道大会」

6月23日(土) 午後12時30分

旧萩藩校明倫館有備館

薩長土肥剣道練成塾、記念講演会、少年剣士との練成会。

6月24日(日) 午前9時

萩市民体育館

高杉晋作旗争奪少年剣道大会。問い合わせ 萩市企画政策課 (0838・25・3102)

## 新規(再)加入会員

本田正勝 (大阪府堺市)  
山本貞壽 (萩市)  
杉原武祐 (福島県須賀川市)  
久賀健治 (神奈川県川崎市)  
山田みのる (萩市)  
井上 勝 (神戸市)  
横田和美 (大阪府大阪市)  
坂本 恵 (兵庫県西宮市)  
(2月21日)～(4月20日) 8人

6月30日(土) 午後6時

山口市湯田温泉4・5・2ホテルかめ福 1階梅鉢

(0833・9332・3599) 中嶋

■「山口県指定有形文化財 吉田松陰関係資料」展(全8期)

4月17日(火)～12月24日(月・休)

山口市春日町8・2

山口県立山口博物館 (0833・9222・0294)

■道の駅「センザキツチン」オープン

長門市初の道の駅が4月20日に

グランドオープン。直売所やレストランは昨年10月に開業。午前9時～午後6時営業、年中無休。

長門市仙崎4297・1

センザキツチン (0837・27・0300)

敷地内に体験型ミュージアム

「長門おもちゃ美術館」も4月7日に開館。木曜日休館。午前10時～午後4時。1歳～小学生は500円、中学生以上は700円。

長門おもちゃ美術館 (0837・27・0337)

■「山口伝統工芸展2018巡回展」

岡田泰(萩市)の作品が入選。

5月16日(水)～21日(月)

下関市竹崎町4・4・10

下関大丸7階文化ホール (0833・2332・1111)

■「次代を担う 第5回萩焼精鋭作家8人展」

萩市の野坂和左、岡田泰、松野

創平、坂悠太ほかの作陶展。

5月23日(水)～28日(月)

宇部市常盤町1・6・30

宇部市井筒屋4階イベントスペース (08336・358100)

■「周南」絆」映画祭

萩市などで撮影された映画「八重子のハミング」などを上映。佐々部清監督のトークショー。

6月2日(土)・3日(日)

周南市銀座2・18 2階

シネマ・ヌーヴェル、テアトル徳山I (070・7560・6930) 実行委員会事務局

■「吉田松陰の尊皇攘夷思想」明治維新への序奏」展

4月21日(土)～平成31年4月8日(月)

萩市椿東1537

松陰神社宝物殿 至誠館 (0838・24・1028)

■「山田みのる 個展」

山口県文化功労賞受賞を記念した個展。萩市越ヶ浜在住。

5月2日(水)～6日(日)

萩市民館小ホール (0838・25・1234)

■「ヴィレッジ」サイラス・チェスナット

現代ジャズ界を代表する巨匠サイラス・チェスナット(ピアノ)、中村健吉(ベース)によるコンサート。

5月19日(土) 午後6時～午後8時(入替)

8000円(各回)

萩市土原291・1

喫茶ヴィレッジ (0838・25・6596)

■「女流陶芸家三人展in猫寺」

「こねこね展」

止原理美(山田)、伊藤真波(福井下)、森野悦子(豊浦町)の作品。

5月24日(木)～31日(木)

午前10時～午後5時(最終日4時)

萩市吉部上2489

雲林寺 駐車場側の別棟 (08388・6・0307)

■「第15回萩の和船大競漕」おしくらこう

玉江浦地区に藩政時代から約300年にわたり受け継がれている和船競漕「おしくらこう」や、公募参加による中学生・一般の部の和船競漕を開催する。

6月3日(日) 午前9時～午後1時

萩市玉江浦(橋本川下流域河川敷) 常盤橋～玉江橋間 (0838・25・4195)

■「DVDビデオ」気と骨」スペシャル

シルクロードをテーマに50年にわたる創作と冒険の旅。101歳の洋画家入江一子さんが語る映像と冊子で100年の歩みを辿る。

DVDビデオ(約30分) + カラーブックレット

定価 1500円(税込)

申込 倫理研究所販売係 (03・3264・2446)

## お知らせ

■4月からコンビニでも萩市の固定資産税等が納付できます

萩市では4月から全国のコンビニエンスストアで、税金や保険料などの納付ができるサービスを始めた。萩市外に在住の方も固定資産税を、日本全国どこでも手数料なしで24時間納付ができます。

問い合わせ 萩市収納課 (0838・25・3575)

## 編集後記

・3月にイタリア・フィレンツェを訪問。何が世界中から観光客を惹きつけるのか。それは街じゅうが美術館(街並み・建築・彫刻など)。一方、2004年から始まった萩市の「まちじゅう博物館」は観光目的となるような取り組みが今後の課題だろう、と思う。

・昨年3月の24年続いた萩市長の交代に続き、今年3月には民間のリーダー的な存在であり18年続いた萩商工会議所会頭が辞任。4月22日の萩市議選で定数20人のうち

新人が5人当選など、萩市でも世代交代が静かに続いている。

(広報特別参写 山本章三)

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送  
発行月 1・3・5・7・9・11月号  
(1994年10月創刊)  
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円  
会員数 1,700人

**イベントカレンダー**

萩市観光協会 ☎0838-25-1750

5月1日(火)~5月5日(土・祝) 9:00~17:30  
◇萩焼まつり 萩市民体育館

5月3日(木・祝)・4日(金・祝) 10:00~15:00  
◇萩・大茶会 萩城跡指月公園ほか

5月12日④~5月13日⑤ 10:00~16:00  
◇萩・夏みかんまつり かんぎつ公園、旧田中別邸

5月12日④~20日⑩  
◇萩オープンガーデン 市内25カ所の庭園

5月20日⑩ 9:00~15:00  
◇浜崎伝建おたから博物館 浜崎本町筋周辺

6月3日④ 17:30~22:00  
◇ホテルまつり in やまだ 山田天神橋周辺

6月4日⑤ 9:00~13:00  
◇萩の和船大競漕 おしくらごう 玉江浦(橋本川下流)

**トワイライトエクスプレス瑞風**

萩への立ち寄り観光スケジュール

5月13日(日)、6月10日(日)  
7月22日(日)、29日(日)  
8:40 東萩駅到着 / 12:08 萩駅出発(予定)

**ブックレットシリーズ萩ものがたり**

57 明治維新の変革過程



みやけつぐのぶ  
三宅紹宣 (広島大学名誉教授)

定価720円(税込) A5版 80ページ  
明治維新は、小さな勢力が巨大な幕藩権力に立ち向かい、やがてこれを倒して近代国家を樹立した壮大な変革過程である。この変革過程を、政治激動のみならず、底流に流れる民衆の動きを重視し、19世紀の国際的環境のもとで、どのようにして独立を保つ近代国家を作ったかを明らかにする。

58 井上勝

「長州ファイブ」から「鉄道の父」へ



明治維新150年記念出版

おいかわよしのぶ  
老川慶喜 (立教大学名誉教授)

定価720円(税込) A5版 82ページ  
1863(文久3)年、「長州ファイブ」の一人として「生きた器械」となるべく英国ロンドンに渡った井上勝は、鉄道と鉱山を学んで明治維新後に帰国し、鉄道の拡張と普及に大きな足跡を残し、「鉄道の父」と呼ばれた。井上勝の波乱にみちた生涯をわかりやすく解説した。

■申し込み 一般社団法人萩ものがたり ☎0838-25-3233

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838-24-2400

**「浮世絵最強列伝〜江戸の名品勢ぞろい」展** 4月28日(土)~5月27日(日)

米国の美術品コレクター、リー・ダークス氏(サンタフェ)が収集した浮世絵166点を紹介する。世界を魅了し続ける葛飾北斎、歌川広重らのキラ星の如く並ぶ浮世絵の名品。

■開館時間 毎週金曜日は午後7時まで(通常は午後5時まで)

■観覧料 一般1,000円、70歳以上、学生800円、18歳以下は無料

■休館日 5月14日(月)

※一部展示替えあり。



▽葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」  
©Lee E. Dirks Collection

▷葛飾北斎「風流なくてなぐせ遠眼鏡」  
©Lee E. Dirks Collection

**「山東のやきものを楽しむ」展**

6月5日(火)~7月16日(月・祝)

山口県・山東省の友好協定35周年を記念して開催。

**萩の風物詩「シロウオ漁」**

松本川下流域での早春の風物詩。今シーズンは不漁ながら、四つ手網の伝統的な方法で、毎年2月~4月上旬の産卵の時期に合わせて行う。

写真/坂本基(堀内)



**萩博物館だより**

☎0838-25-6447

**「萩博 美のイッピン！」展(第1期)**

4月14日(土)~6月3日(日)

新収蔵庫の完成を記念して、これまで寄贈・寄託いただいた貴重な資料の中から「美」をテーマとして、初公開を含めた作品を公開。江戸時代から現代の歴史に息づく「美」のイッピンたち。

■観覧料

一般 510円

高校・大学生 310円

小・中学生 100円

■休館日

なし(年中無休)



雲谷等璠「花鳥図屏風」(左隻)

**夏期特別展「深海魚大行進」**

6月23日(土)~9月2日(日)

東京海洋大学の協力により国内有数の深海魚展を開催。